

信州上田学A 2022 第3回

蚕都を未来に活かす

世界を救った蚕種／蚕種の現場

2022年10月20日



前川道博

長野大学・企業情報学部

信州キモノアカデミー2019

蚕の卵は世界を救う

2022改訂版



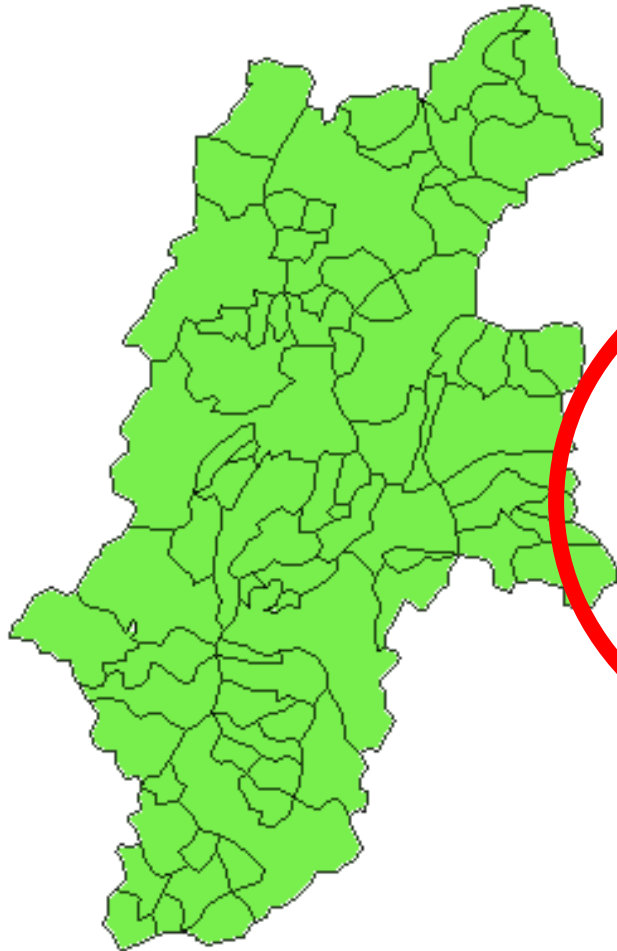
キモノマルシェ
in 上田 2019

2019/10/05

前川道博

長野大学企業情報学部教授
シルクロード長野ネットワーク代表
蚕都上田プロジェクト代表世話人

上田は信州と着物の交差点



着物が似合う
まち



以下のサイトから転載しました。

<http://www.civillink.net/esozai/download/78.html>

2019キモノマルシェ in 上田で 学生が着物の美をアピール 2022も実施！



真珠湾前年、絹の靴下は日本生糸？



映画『Broadway Melody of 1940』から

1940年、その時上田は？

- ・『上田市史』出版 皇紀二千六百年記念刊
序文の最後に 昭和十五年庚辰歳正月
興亞新秩序建設に拳国邁進の日
上田市長 伊藤伝兵衛



世界恐慌1929年、シルクは日本産？



映画『Broadway Melody of 1929』から

外国人に向け紹介された上田

『日本博覧図』(1897) 所載〔英語記載〕
(上塩尻／佐藤尾之七邸宅)



〔図版：上田市立博物館所蔵『日本博覧図』(1897)『信州上田デジタルマップ』から転載〕

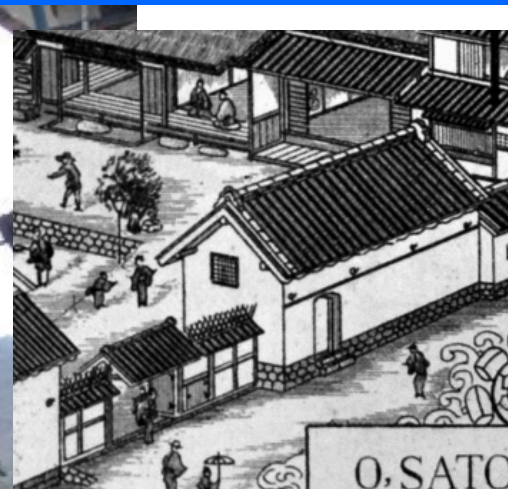
「佐藤尾之七邸宅」部分拡大



現在も残る蚕室、ナニコレ？



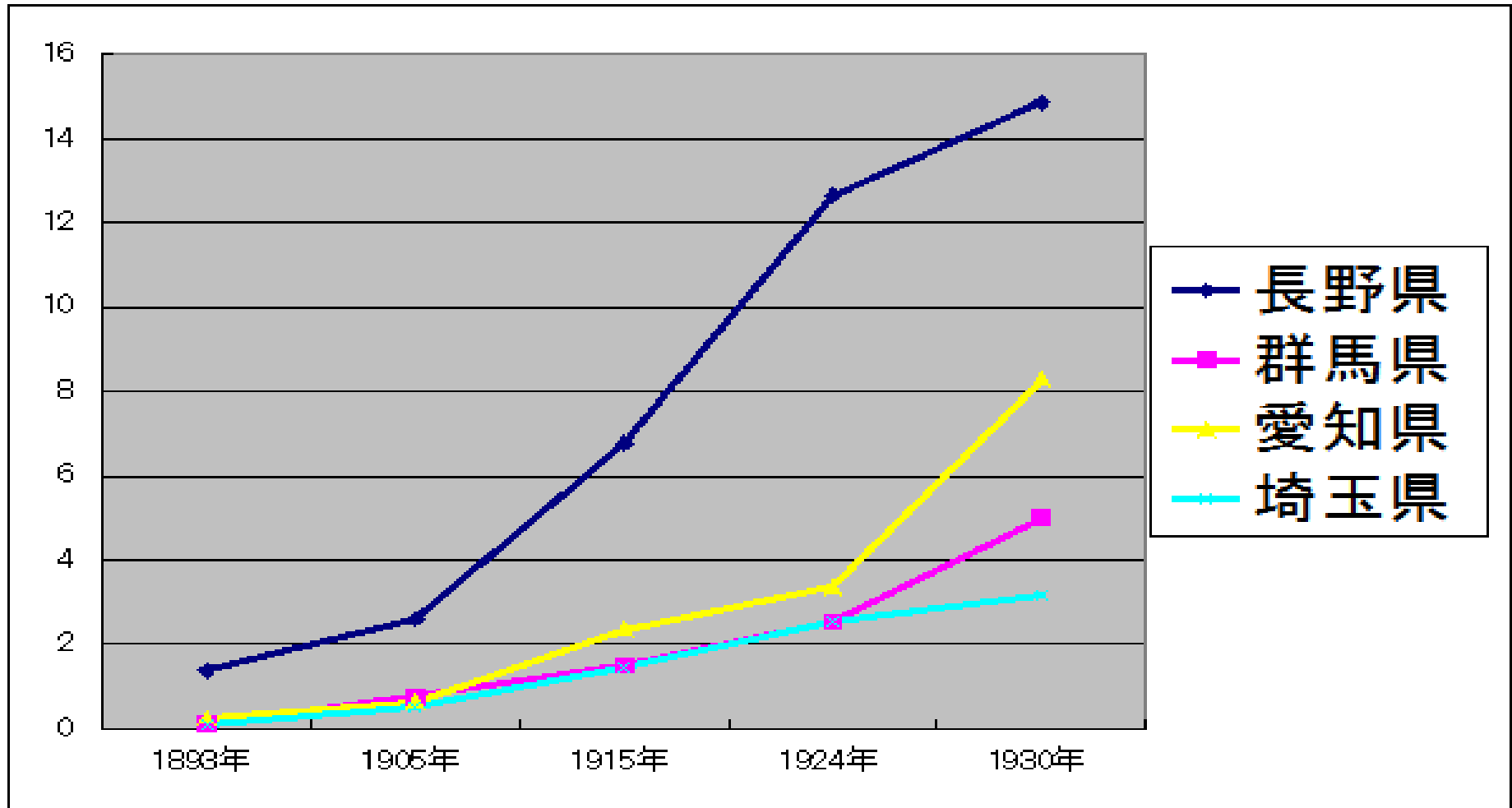
蚕種郷：上塩尻 蚕室民家



国登録有形文化財「佐藤家住宅(三ツ引)」2021年登録(旧佐藤尾之七邸宅)

信州が蚕糸王国である理由・その1

他県を圧倒する生糸生産高 1893～1930

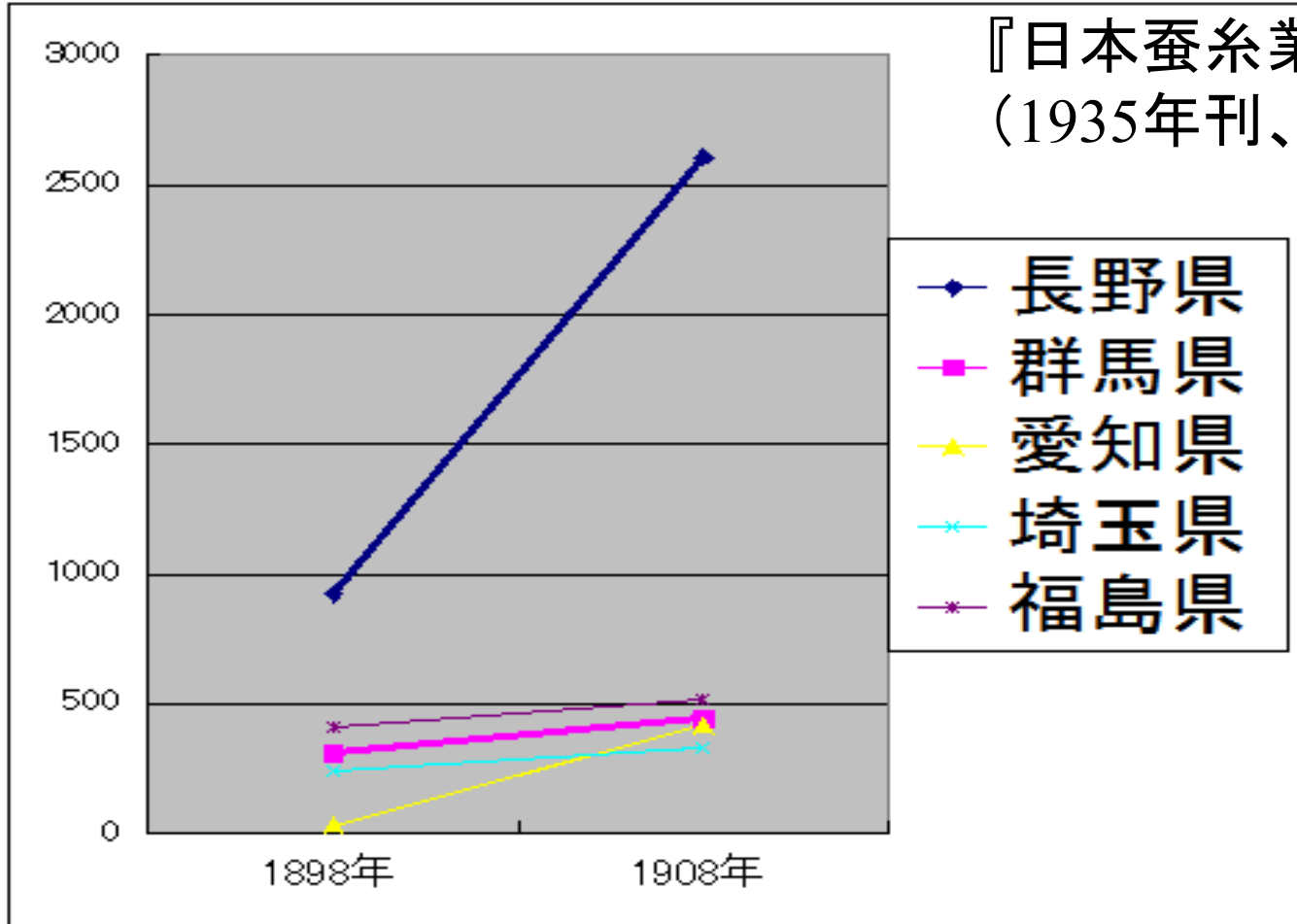


『岡谷蚕糸博物館紀要』第11号より引用

単位: 千両

信州が蚕糸王国である理由・その2

他県を圧倒する蚕種生産高 1898-1908



明治31年～明治41年

単位：千枚

1928年、その時上田は？ 上田が最も栄えた時代のマップ

蚕都上田

市街図

歴史・文化財マップ

<http://www.santo-ueda.jp/>

真田氏の城下町であった上田市は、北国街道の宿場町でもあった。呉服屋などの有力な商家や繭糸商が海野町、原町、柳町などに軒を連ねていた。江戸時代後期以降の蚕種業、製糸業の発展によって、市制を施行した上田市(1919年～)は、蚕都と呼ばれるようになった。市街地の周りには製糸業を営む常田館製糸場、小宮山製糸場、長峯製糸場など7つの工場や上田蚕種株式会社、小泉蚕業学校、上田蚕糸専門学校が立地していた。また上田駅前には上田倉庫(諏訪倉庫)、上田城址には長野県蚕業試験場上田支場があった。さらに第十九国立銀行をはじめ、信濃銀行(上田銀行)など蚕糸業を支えた多くの銀行が立地していた。これらの銀行は製糸家や繭糸商、有力商人によって支えられていた。民衆のための娯楽施設が数多く建てられ、市街地と蚕養や製糸業の盛んな塩田、丸子、真田を結ぶ鉄道の開設により、市街住民だけでなく製糸女工など近郊から訪れる多くの人々が賑わった。



生糸繭糸 田中忠七
「萬世」の名で知られた繭糸商。その財力で「大神宮」を寄進した。



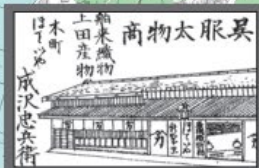
信濃館製糸場
明治22年(1889)繭糸商長岡万平が建てた上田最初の機械製糸場。排糞当初より蒸気機関を採用するなど上田小島地方の製糸業をけん引した。大正6年(1917)より小宮山製糸場。(現武田味噌工場)



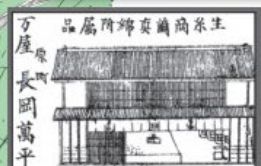
現存
春蚕園神社(大足神社園) 春蚕の守護神・程産靈神を祀った神社。この地域の蚕糸業関係者が昭和16年(1941)に建てた。春が麗になる直前(5節)の大きさ(63mm)と同じ大きさの女神像が安置されている。



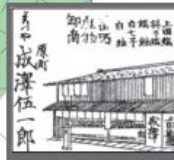
現存
繭糸商 小宮山滝兵衛・巻四郎 信濃館製糸場を引き継ぎ、小宮山製糸場・箕輪場信全社を経営した。(現そぼ屋お西)



呉服太物 日本町 上田産物 箱米織物 成沢忠兵衛
当服商(ぼていや) 成沢忠兵衛 海野町にデパート「ぼていや」を経営するまでに発展した。



現存
繭糸商 万屋 長岡萬平 信濃館製糸場を設立した。



現存
信濃館製糸場



現存
三吉木照胸像
小泉蚕業学校(明治25年(1892)創立)の初代校長。上田蚕糸専門学校教授もつとめた。日本の蚕糸業の近代化に多大な貢献をした。(上田城跡公園内)

長野県蚕業試験場 上田支場
県立の原蚕種製造所。質の良い蚕種製造・配布を行い、品質の統一を図った。



現存
旧上田市立図書館

大正4年(1915)、上田男子小学校明治記念館として建設。アール・ヌーヴォーの流れをくむ建築。大正12年(1923)から昭和45年(1970)まで上田市立図書館。蚕糸の経済力を背景に革新的・先駆的な気風が支配した時代



蚕都上田の絶頂1928年→恐慌

| 1890 | 1900 | 1910 | 1920 | 1930 |
|--|--|---|--|---|
| <p>●1884^{明17}・1886^{明19}松方デフレにより生糸輸出大きく低迷</p> <p>●1888^{明21}「原紙有毒事件」三吉米熊、無害を立証</p> <p>●1891^{明24}全国台紙販売300万枚うち長瀬村153万枚余</p> | <p>●1894^{明27}・95^{明28}日清戦争</p> <p>●1893^{明26}信越線全通</p> <p>●1888^{明21}信越線直江津・軽井沢間開通</p> <p>●1899^{明32}「道路県令」七道開削事業</p> <p>●1904^{明37}・05^{明38}日露戦争</p> <p>●1902^{明35}線 / 井線全通</p> <p>●1905^{明38}中央線岡谷駅開業</p> | <p>●1914^{大3}・1918^{大7} [欧]第一次世界大戦 [日・米]大戦景気</p> <p>●1919^{大8}上田市制実現、国庫補助を獲得し水道事業着工</p> | <p>●1923^{大12}関東大震災</p> <p>●1929^{昭4}世界恐慌</p> <p>●1927^{昭2}取金融恐慌</p> <p>●1933^{昭8}国際連盟脱退</p> | <p>●1917^{大10}上田蚕種株式会社事務所</p> <p>●1928^{昭3}「上田蚕種株式会社」設立</p> <p>●1930^{昭5}昭和恐慌</p> |

1888^{明21}上田駅開業

松尾町・天神町の誕生
城下町から商業都市へ

業会社)、高値取引「拜見なし」

減少
人2745人超、地域全体が潤う
横浜で蚕種大量焼却

社)結成。社長佐藤八郎右衛門。国内販売・健全志向
会社も以後国内向けに専念

製糸場設立

貿易大黒字「生糸を売って軍艦を買った」が相場は不安定「製糸業は生死業」

器械製糸の導入

片倉兼太郎・平野村 初代笠原房吉、器械製糸場
出荷高、県の51%

●1885^{明18}上小生糸生産高、県の14%に縮小
諏訪地域などへの出荷に傾く

●1889^{明22}下村亀三郎、丸子に器械製糸組合「依田社」設立

それぞれ政府主導の生糸改組会社社長就任。戸別買付人2334人、県下一
・田中忠七、柳町に「拡糸社」仕上げのみ器械化の揚返場

●1888^{明21}中塩田村、農家製糸組合「有誠社」結成。揚返場運営・直接横浜出荷

●1889^{明22}長岡万平、柳町に器械製糸場「信陽館」

大屋駅開業

●1892^{明25}「小県蚕業学校」開校
(日本蚕学のバイオニア)初代校長三吉米熊、生徒17府県から

●1885^{明18}山極勝三郎ら在京上小関係者「上田郷友会」会報発行。現在も継続
蚕種伝習生受け入れ

●1893^{明26}上田町本籍約15千人に加え
寄留の住民登録7千人を超える

●1884^{明17}「全国一」金融機関総数、銀行8・類似会社83

●1885^{明18}「唯一の蚕系商況情報源」銀行通信録」上田通信

●1894^{明27}「商用全国初・蘭の乾燥保管」上田倉庫

器械専用一代交雑種へ移行

●1914^{大3}片倉組松本製糸場今井五介、購買上前提に一代交雑種無料配布
東京岸部農家ほか上田蚕系・小県蚕系も。以降急速に普及

●1917^{大10}「上田蚕種株式会社」設立「日本最大規模」
発起人:中島精一・佐藤尾之七・倉沢運平・工藤善助・笠原善吉・依田社・小川組・常田館など
一代交雑種・冷蔵種・人工ふ化種 資本金25万枚地14千坪 生産高20万枚

「蚕種王国塩尻村」の隆盛

●1921^{大10}塩尻村、冷涼地長野の蚕種人工ふ化成功。以後製造始める
一代交雑種製造一般化。房総や屋久島・八丈島でも生産

北塩尻駅開業

●1925^{大14}「長野県蚕種製造家番付」
大正十四年度製造額二千枚以上の者
(東塚出横綱)松本市片倉製糸紡績
(東横綱)塩尻村藤本蚕業
(西横綱)上田蚕種
ほか塩尻村30枚番付入

●1925^{大14}「長野県蚕種製造家番付」
大正十四年度製造額二千枚以上の者
(東塚出横綱)松本市片倉製糸紡績
(東横綱)塩尻村藤本蚕業
(西横綱)上田蚕種
ほか塩尻村30枚番付入

●1920^{大9}桑園面積、長野県全国一
上小は県トップ

●1929^{昭4}日本の生糸輸出量世界首位

●1919^{大8}製糸工場上田地域に広がる
川辺千曲館・浦里川西社・北信館など21社

●1916^{大5}「常田館製糸場」上田町で発展
従業員1032人、全数90.4%は町全体の約70%

●1912^{大1}下村亀三郎、初代丸子町長就任

●1913^{大2}蚕業界の主力者工藤善助
依田社二代目社長就任し業務拡充

●1913^{大2}横濱生糸番付
①片倉組②山十③小川④依田社

丸子町駅開業

●1918^{大7}工藤善助・金子行徳、信濃絹糸創業。依田社副蚕系を原料の紡績業

●1921^{大10}依田社、海外向け着色PR映画制作

●1926^{昭1}丸子町人口、明治元年の5.4倍に。男女比1:2

●1929^{昭4}別所温泉の旅館、全て内湯に

●1930^{昭5}郵管PR。(スキー)シュナイダー
塩尻村馬場直次郎ら映画撮影に協力
(県下初のハーモニカ楽団も)

観光開発

●1916^{大5}(-1930)「信州婦人夏期大学」別所村 常楽寺

●1919^{大8}村青年会編集「塩尻時報」以降上小町村続々独自発行

●1919^{大8}「蚕都新報」・1920^{大9}業界紙「蚕糸」月間5000部

●1921^{大10}「全国波及」生涯学習「上田自由大学」

●1929^{昭4}上田蚕業専門学校 建設
(現信州大学繊維学部講堂)

●松坂屋・三越・高島屋、上田での
出張販売好調。通販も

蚕都上田

上田橋と右下に上田駅

上田橋と右下に上田駅

上田橋と右下に上田駅

上田橋と右下に上田駅

カイコのタマゴが世界を救う 年表から捉えると…

1840-50頃
欧州蚕の卵壊滅

1859~
生糸輸出

1865~
蚕の卵輸出

1914~18
第1次大戦

1910s~
米国・絹の靴下



救援！

救援！

救援！

救援！

欧州 蚕の卵渴望
生糸輸入で我慢する

救世主
蚕の卵遂に！

大戦で
国壊滅

米国で
絹需要増大

<https://www.mmdb.net/silknet/archive/ueda/page/A0270.htm>



待望の『蚕糸王国信州ものがたり』



長野県発展の源流は、
すべて「蚕」にあった。

蚕糸王国信州ものがたり
(信毎選書)

阿部勇編著

分担執筆 前川道博

第5章 ポスト蚕糸業

定価1,400円(税別)

カイコのタマゴからキモノまで

蚕糸業

蚕の卵
(蚕種)



まゆ
(養蚕)



生糸
(製糸)



製品

蚕の卵

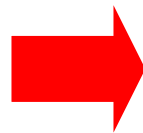
まゆ



生糸

絹織物

くずまゆ



紬

キモノ

その他

蚕種製造＝交尾した蛾の卵を取る



上田蚕種で撮影



藤本蚕業歴史館の展示

これがカイコの卵

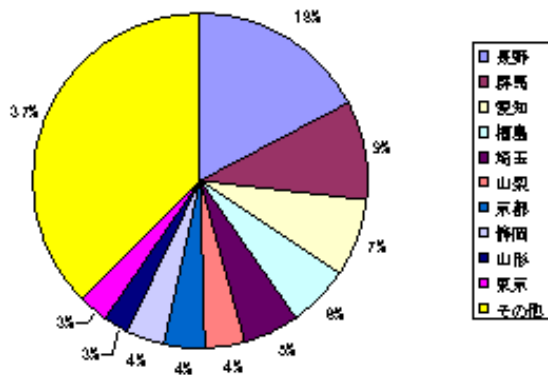


生まれたばかりのカイコ(蟻蚕 = ギサン)

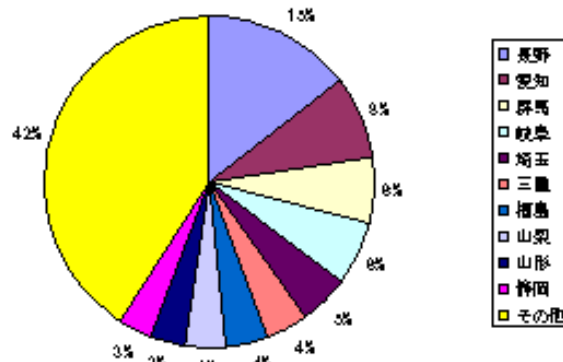


蚕糸王国信州・図抜けた日本一

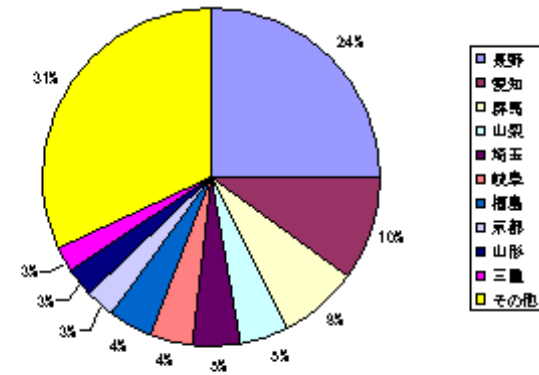
蚕種製造額



繭産額(養蚕)



生糸産額(製糸)



- 1 長野 17.6%
- 2 群馬 9.4%
- 3 愛知 7.4%

- 1 長野 13.8%
- 2 愛知 7.6%
- 3 群馬 6.1%

- 1 長野 25.0%
- 2 愛知 9.9%
- 3 群馬 7.6%

蚕糸王国だった長野県

長野県はかつて蚕糸業を誇り、大正中期から昭和初期の最盛期には全県の8割を蚕糸業並びに関連産業が占めていた。(『エラベルNagano 2017』)

産業の栄枯盛衰

百年前・前後の数十年

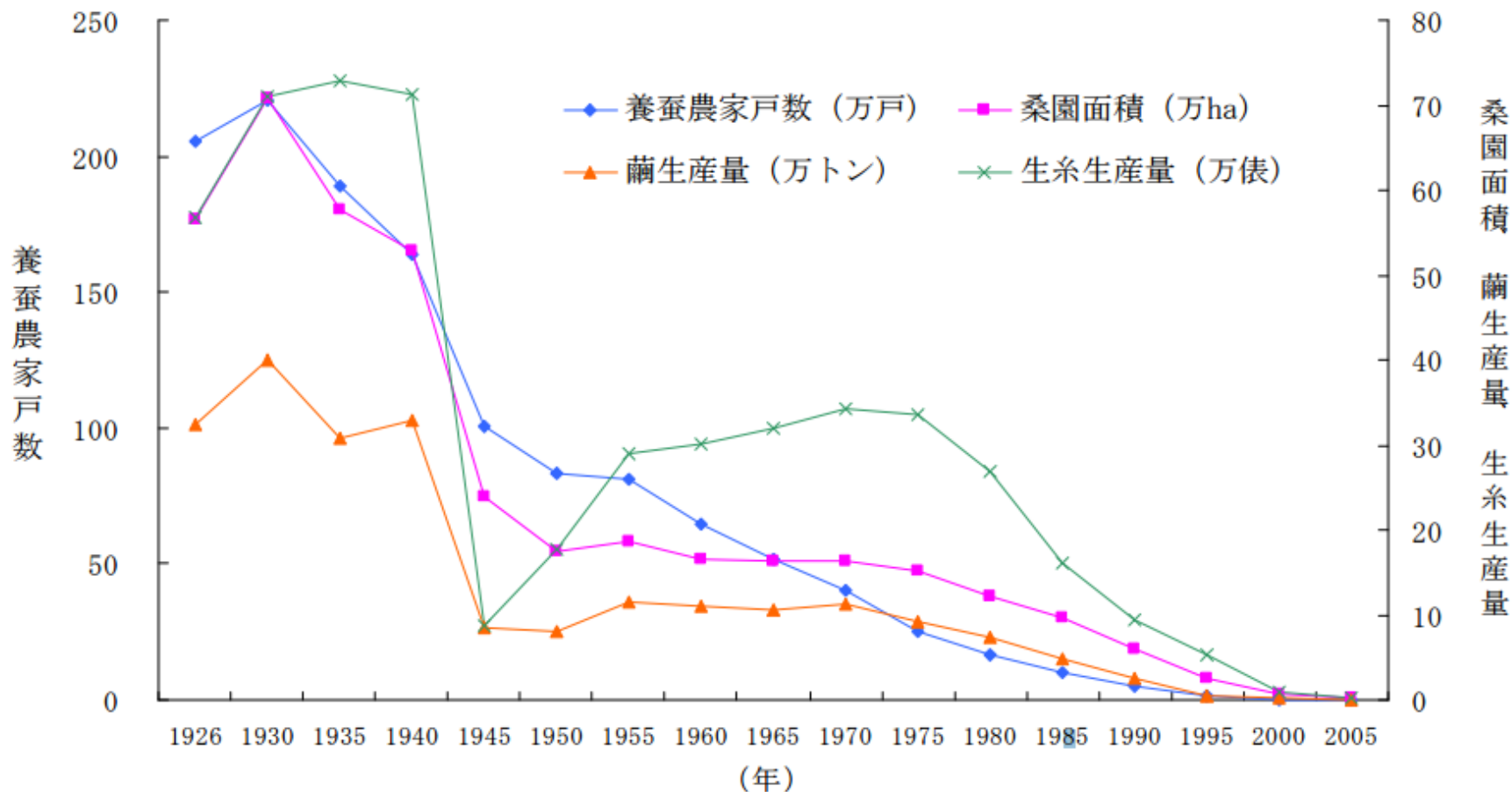
蚕糸王国
国の基幹産業を牽引

戦争

過去・現在・未来

ポスト蚕糸業
蚕糸業の転移と変質

日本の生糸生産の長期推移

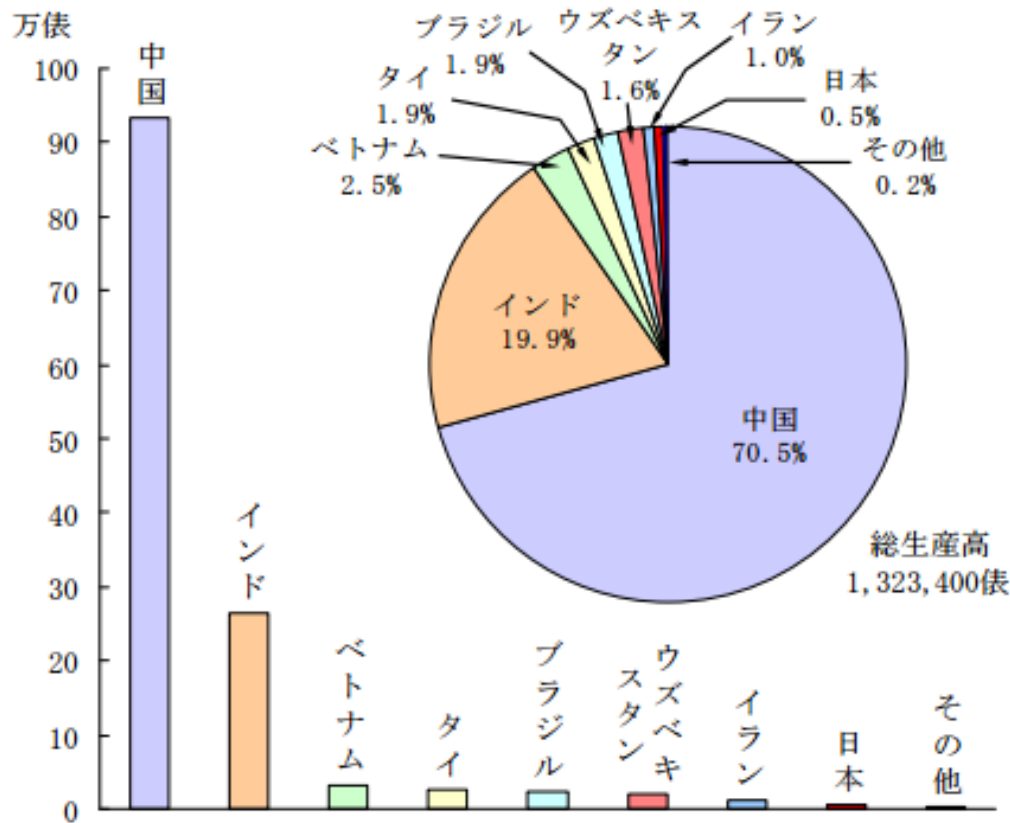


日本における養蚕業の推移(「養蚕統計」,「蚕業に関する参考統計」,「蚕糸統計月報」より)

蚕業技術研究所「日本の養蚕業の変遷」から転載

http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/yousan.html

世界の生糸生産の状況 2001年



1-11 図 各国の生糸生産状況 (2001年)

(独立行政法人農畜産業振興機構「シルク情報」より)

蚕業技術研究所「養蚕 第1章 養蚕と養蚕業」から転載

http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/yousan.html

信州シルクロード 信州の生糸を横浜へ そうして世界は蚕で救われた



日本シルクロード学びあい講座 港都横浜編2011

<http://www.mmdb.net/silknet/archive/ueda/cat/manabi2011yokohama.html>



日本シルクロード学びあい講座 蚕都上田編2011

<http://www.mmdb.net/silknet/archive/ueda/cat/manabi2011ueda.html>



信州シルクロード 各地から横浜へ



信州シルクロード： 陸路で碓氷峠を越える



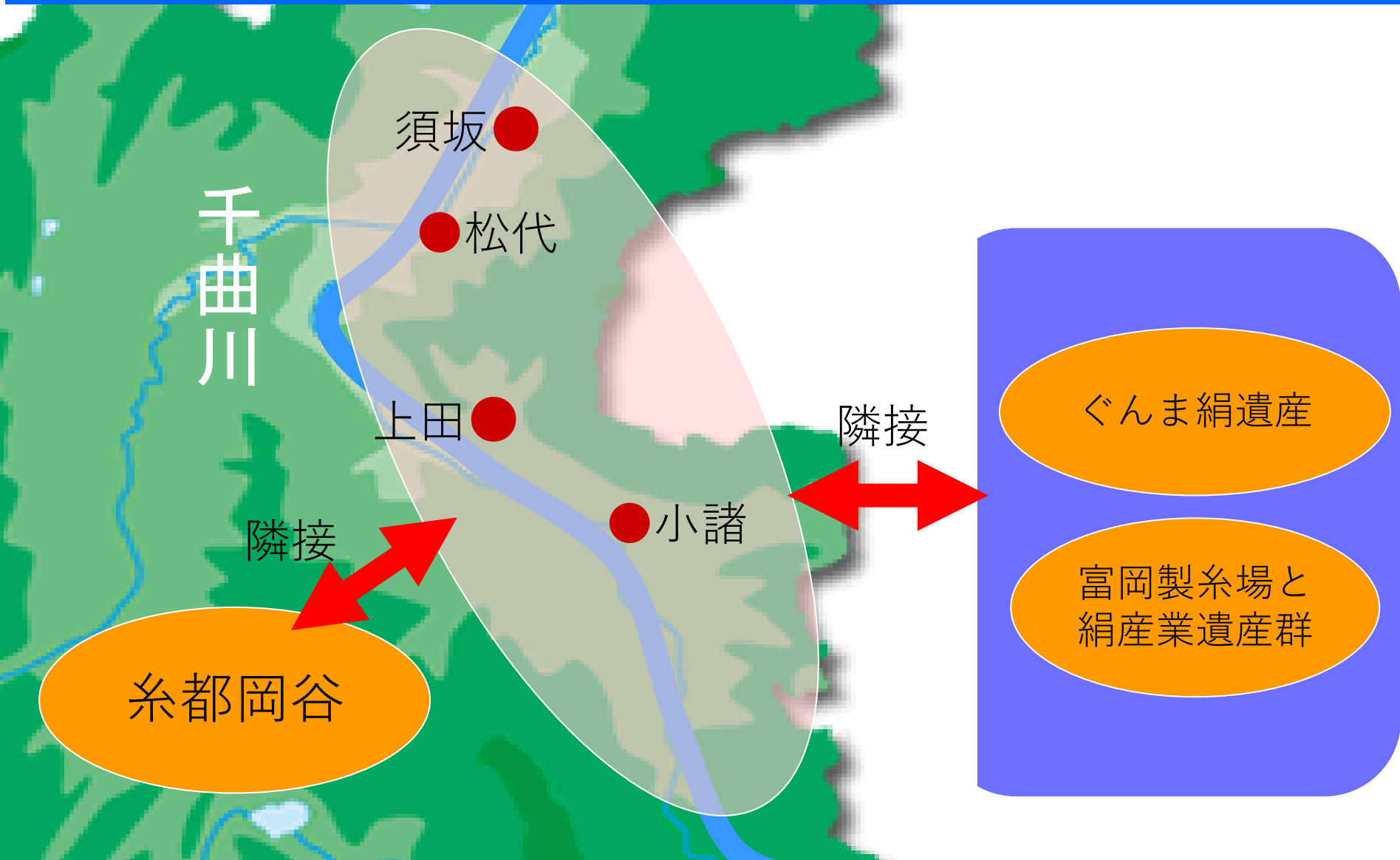
信州シルクロード： 倉賀野で生糸を船に積み換える



信州シルクロード： 利根川を經由し横浜へ



千曲川ライン＝蚕糸業ベルト地帯



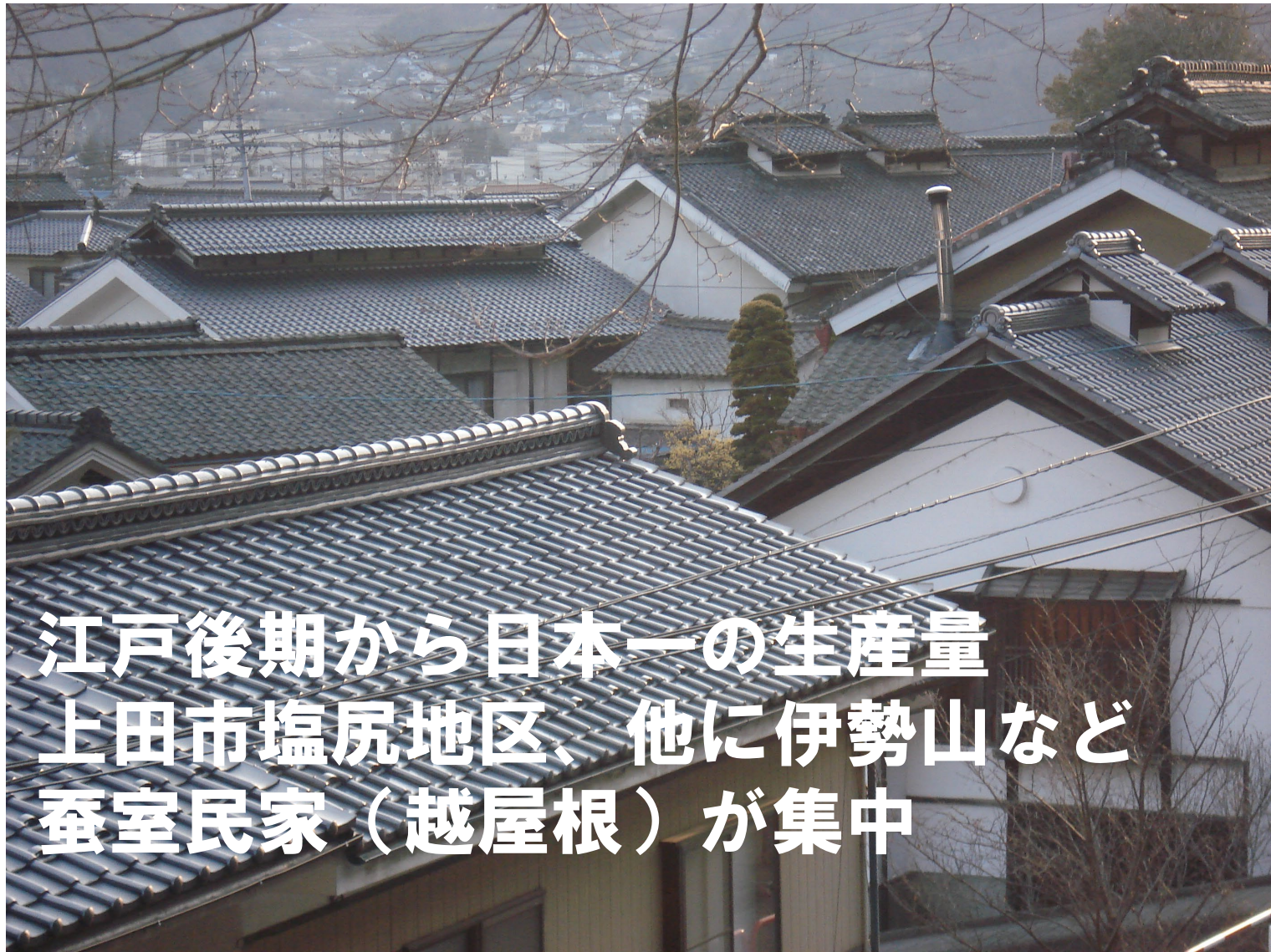
風穴は世界を救う 小諸・氷風穴



氷風穴 1872年創設 高橋平四郎

上州とのつながり。蚕種冷蔵は国内最大級の規模。

蚕種郷：上塩尻 蚕室民家の家並



江戸後期から日本一の生産量
上田市塩尻地区、他に伊勢山など
蚕室民家（越屋根）が集中

蚕種郷：上塩尻 風情ある小路



蚕種郷：上塩尻 桑園の段々畑



蚕種郷：別所温泉



蚕種製造家 倉澤運平

Umpei was born in Bessho, Nagano Prefecture at the end of the Edo era in 1866. He played an active role in production of silkworm eggs at the time when silk industry was a major foreign exchange earner for Japan. The basic point for silk industry is rearing silkworms which are disease-resistant and produce high quality cocoons. For this purpose, it was necessary to produce good quality silkworm eggs, and sericulturists across Japan worked hard on this.

In the latter half of the Meiji era (1868-1912), Umpei built the Korizawa Cold Storage (Korizawa Fuketsu) halfway up Mt.Ogami located at the back of Bessho, to store silkworm eggs and adjust the hatching timing to enable cocoon production in autumn.

"Fuketsu" is a natural storage facility making use of cool air produced by wind passing through rock crevices in the mountain. Silkworm eggs were stored in this storage and were incubated in summer and autumn. The hatched larvae were called "summer silkworms" and "autumn silkworms" respectively.

Umpei devoted his attention to producing autumn silkworms. After around the 3rd year of Taisho (1914), he succeeded in creating bivoltine silkworms called "Nikasei Shinhaku", a variety which produced two broods in a season. It was authorized by Nagano Prefecture.

Mulberry trees grow very quickly after being pruned, enabling farmers to harvest leaves to feed silkworms for a longer period. It was possible to rear silkworms as many as five times a year between spring and the end of autumn. Sericulture brought more cash than rice cultivation, and therefore sericulturists in Nagano Prefecture were relatively wealthy.

Umpei's rearing house was designed mainly to be suitable for autumn silkworms. "Fatten the worms with mulberry leaves, make them strong by ventilating air" was the motto made by Isaka Naokazu, one of Umpei's apprentices. In the basement was a furnace which sent hot air up to the first floor to incubate silkworm eggs. After they hatched into larvae, they were fed large amount of mulberry leaves and further fed on the second floor. Mulberry leaves were stored in the basement cellar cooled by the stream flowing beside the facility.

Umpei died in 1934 at the age of 69.

Written by Niitsu Arai (Translated by Kurasawa Takako)
August 1, 2016



繭から生糸を巻き取る運平

Umpei reeling silk off a cocoon

蚕種製造に一生を捧げた

倉澤運平の



Silkworm Rearing House
of Kurasawa Umpei,
who dedicated his life to
sericulture

幕末、別所温泉に生れた倉澤運平は、蚕糸業が日本の外貨獲得の中心産業であった時代に蚕種(蚕の卵)製造で活躍しました。製糸業の原点は、病気に強く糸質の良い蚕を育てることにあり、それには良質の蚕種をつくる必要があります。全国の蚕種屋はこのことに没頭しました。

明治期後半に運平は秋蚕用として別所温泉裏山の夫神岳中腹に「氷沢風穴」を築きました。「風穴」とは山原の洞穴から出て来る冷風を

利用した自然の冷蔵庫で、ここに保存された蚕種を夏秋に孵化させ夏蚕・秋蚕とよびました。運平は秋蚕の製造に熱中し、大正三年以降に長野県指定の「二化性新白」を生み出しました。桑の木は、切られるとすぐにまた成長するためその葉を採って蚕の餌にできるので、春から晩秋まで五回も養蚕が可能で、稲作より収入が多く、このため信州の養蚕農家は豊かでした。この蚕室は秋蚕飼育を中心に、「桑で太らせ、空気で強く」(運平の弟子猪坂直一の標語)をモットーとした蚕室で、地下ではストープで温めた空気を二階に送って蚕種を孵化し、成長した蚕は二階でさらに育て、その餌の桑の葉は、蚕室の脇を流れる川の水を利用した地下の保存庫に保存しました。

(倉澤運平、慶応二年七月二〇日、

昭和九年九月五日、享年六十九歳)

平成二十八年八月二日、新津新生記

蚕種郷：別所温泉 倉澤運平の蚕室



蚕種郷：別所温泉 氷沢の風穴



近代的なホテルの先駆 ホテル花屋



近代的なホテルの先駆 ホテル花屋



上田蚕種株式会社

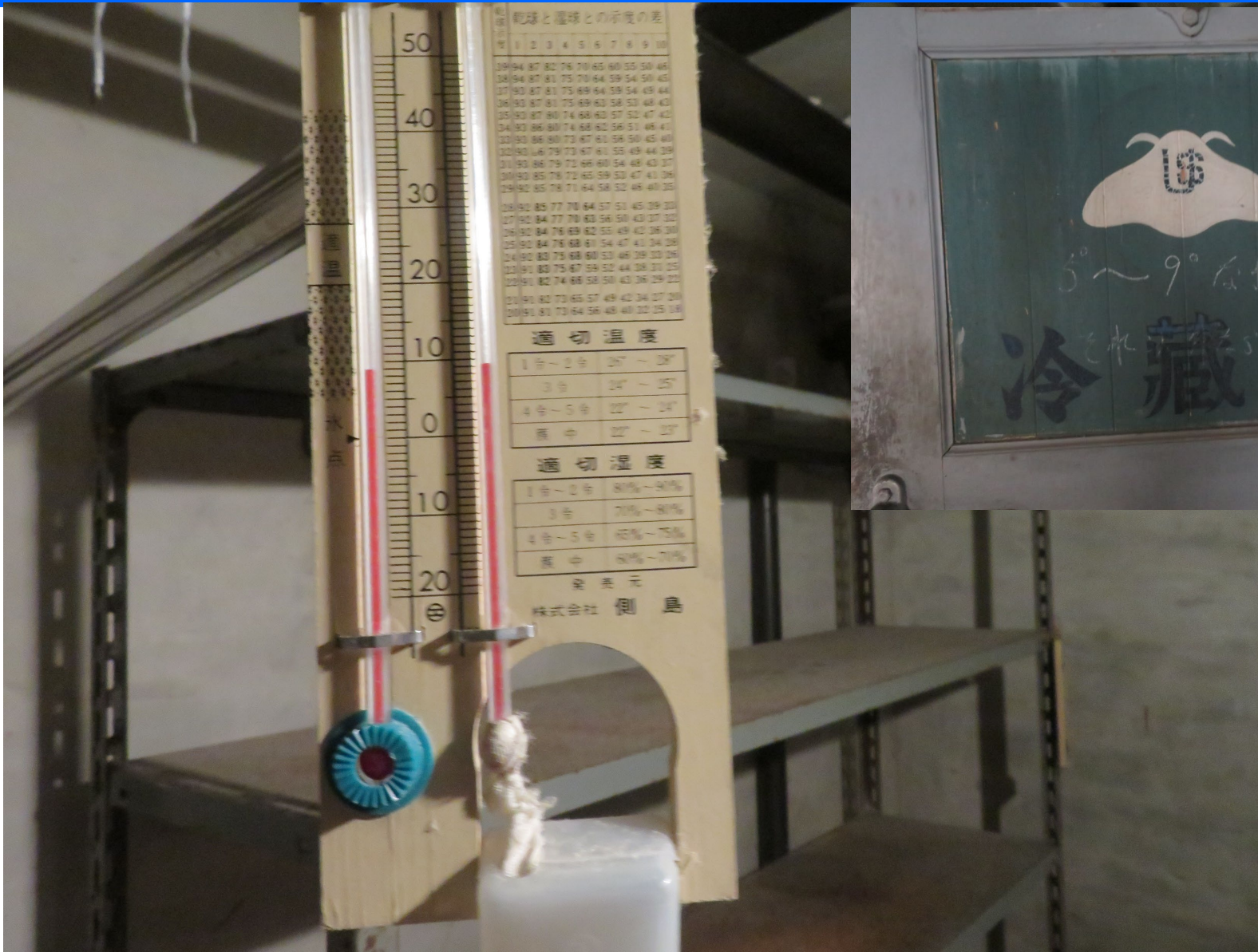
現役の蚕種製造企業



上田蚕種 宮本社長から話を聴く



蚕の卵 冷蔵保存



蚕の卵 催青(ふ化させる)



蚕の卵 カイコを育てる



蚕の卵 繭を切断、蛹を取り出す



蚕の卵 交配



蚕の卵 人工ふ化・洗い落とし



旧常田館製米場（笠原工業） 国指定重要文化財



<http://www.kasahara.co.jp/kasahara/tokidakan/>



旧常田館製糸場の保全



炊事場(曳家前)2008年



木造四階繭倉庫(曳家後)

2008年

上田紬 カジュアルさの魅力



上田紬 カジュアルさの魅力



<http://ueda-tsumugi.com/>



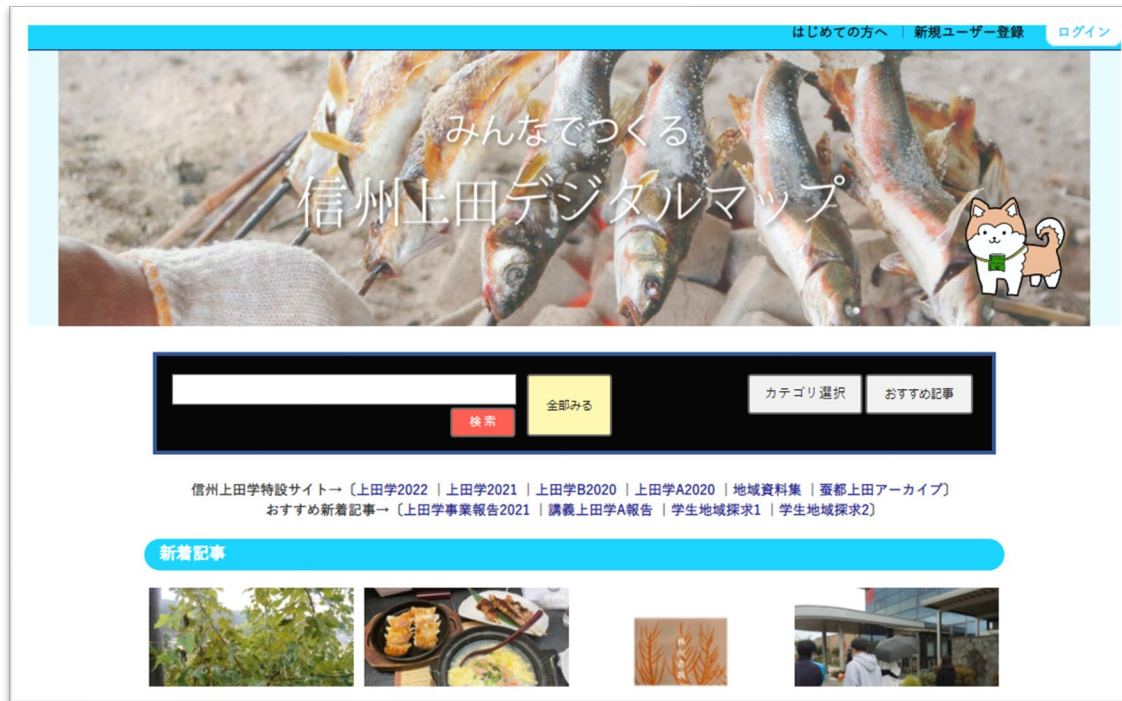
キモノマルシェ 学生が着物でイベント

着物はなごみ 日本の美



「蚕都」やその一次資料を調べるなら『信州上田デジタルマップ』を使おう！

・ 任意のキーワードで検索



<https://d-commons.net/uedagaku/>




『藤本蚕業デジタル資料館』

- ・これをベースにキュレーションしてもよい

藤本蚕業

蚕種製造の中心地上塩尻の中でもその中核的存在だった佐藤家(藤本善右衛門)が1908年、企業「藤本蚕業」となり蚕種製造業を発展させた。



<https://d-commons.net/fujimoto/>

所蔵資料をいつでも
ネットに公開



藤本蚕業歴史館

旧藤本蚕業社屋の一部を歴史館(文書館兼博物館)として2009年に開館。近世・近現代の膨大な史料が保全されています。

地域史・産業史の生の資料群



日本の蚕種製造業を知る膨大な資料(史料)はデジタル化によりその活用がされることが期待されています。関係者の映像記録も集成し全国からアクセスできるデジタルアーカイブに進化させます。



<https://d-commons.net/fujimoto/>

上田市マルチメディア情報センター 上田市デジタルアーカイブポータルサイト

The screenshot shows the homepage of the Ueda City Digital Archive Portal Site. The header includes the site name and navigation tabs for HOME, Ueda City Activities, Digital Archive, Product Introduction (DVD/CD-ROM, Website, Video Works), and Video Works. A sidebar on the left features a 'Work Introduction' section with a large decorative image. The main content area is titled 'Video Works Introduction' and contains a paragraph about the archive's mission. Below this is a 'Works Overview' section with a grid of video thumbnails and titles, including 'Ueda Yuzen' (信州上田紬), 'Modern Silk Reeling Technology' (現代に生きる蚕種製造技術), 'Farmers' Heart' (農の心), 'Ueda Airport and Early Ueda Town' (上田飛行場と昭和初期の上田の街), 'Ueda Regional Folklore' (上田地域の民話), 'Ueda City Public Information Program' (上田市広報番組「ふれあい上田」), 'Katsuragi River' (千曲川の河童), and 'Ueda Earthstone' (上田の地石). Each thumbnail includes a 'Learn More' link.

The screenshot shows the YouTube channel page for the Ueda City Multimedia Information Center. The channel name is '上田市マルチメディア情報センター' with 204 subscribers. The featured video is '鐘紡上田工場' (Kanebiki Ueda Factory), uploaded on 2014/05/13, with 1,090 views. The video thumbnail shows a factory building. The channel description at the bottom states: '昭和12年に操業を開始した鐘紡上田工場の記録映像' (Recording video of the Kanebiki Ueda Factory, which started operations in 1939).


<https://museum.umic.jp/>

<https://www.youtube.com/channel/UCeWnw2U0o4fkvvsXO3YiIMHQ>

信州上田シルクロードアーカイブ 蚕都上田プロジェクト

- ・「蚕都上田」にフォーカス 2009～
- ・地域学習活動記録をアーカイブ化
- ・オープンデータとして活用できる

信州上田シルクロードアーカイブ



目次

| | |
|----------|------------|
| カテゴリフォルダ | カテゴリフォルダ ▾ |
| 地域フォルダ | 地域フォルダ ▾ |
| 記録日フォルダ | 記録日フォルダ ▾ |
| 登録日フォルダ | 登録日フォルダ ▾ |

(最終更新日: 2018/10/21 : 300 件 [New!] 0 件)

オープンデータアーカイブ

本サイト掲載の一部のデータはCCライセンスで提供します。
観光振興・地域学習・地域づくり・地域紹介などにお役立てください。
[テーブルデータ(TEXT)|RSS1.0データ]

信州上田シルクロードアーカイブ

学びあい講座・横浜編(3)日本初の生糸輸出は信州上田から

カテゴリ: 日本シルクロード学びあい横浜編2011 地域: 横浜市
(登録日: 2011/11/12 更新日: 2018/10/21)

講座「日本初の生糸輸出は信州上田から」ダイジェスト版



ダイジェスト版で講座の概略を掴むことができます。

講座「日本初の生糸輸出は信州上田から」ノーカット版



<https://www.mmdb.net/silknet/archive/ueda/>



『上田老舗図鑑』滝澤主税編 (2004)



- 長野県地誌草案 (1877 明治10)
- 上田街諸名家一覽表 (1891 明治24)
- 上田市別所 田沢 沓掛 温泉 温泉電車案内 並二塩尻 全図 (1922 大正11)
- 上田市街宅地輕便地図 (1924 大正13)
- 『信州民報』掲載上田の老舗 (1955 昭和30~)

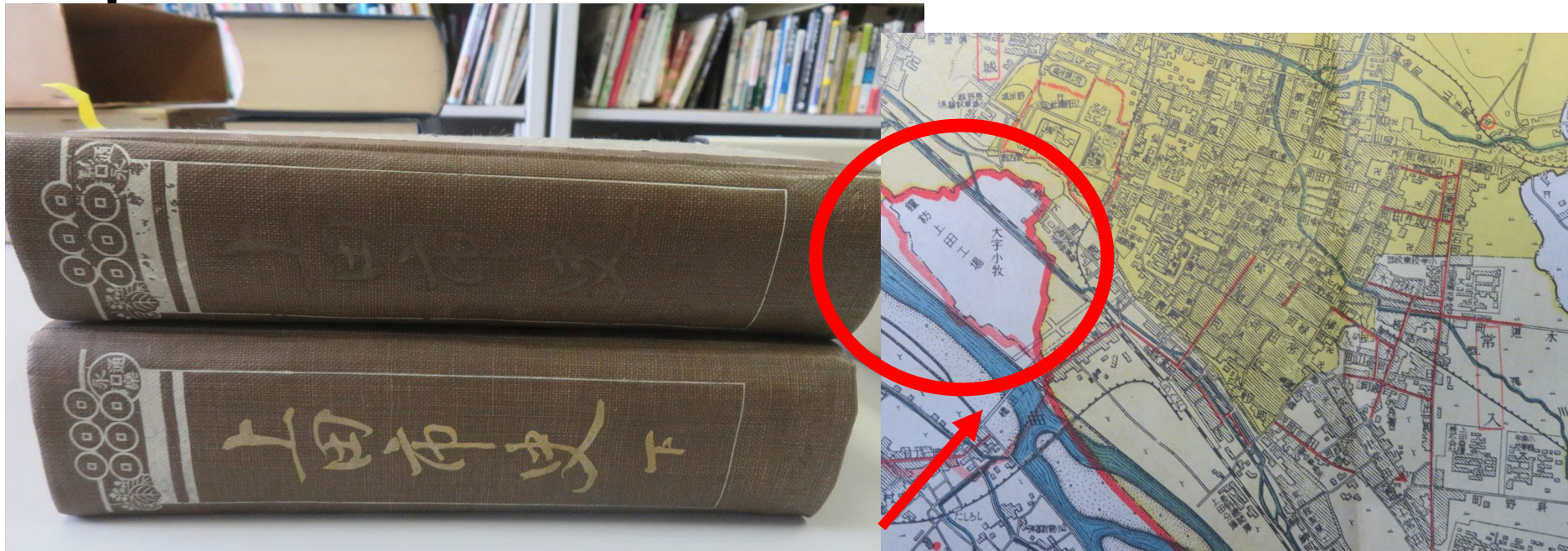


<https://d-commons.net/uedagaku?c=&p=2351>

『上田市史(上下巻)』1940

著者: 藤澤直枝 (1870~1944)

- ・「与えられた歴史」ではなく、「自ら検証し見直す歴史」の参考に



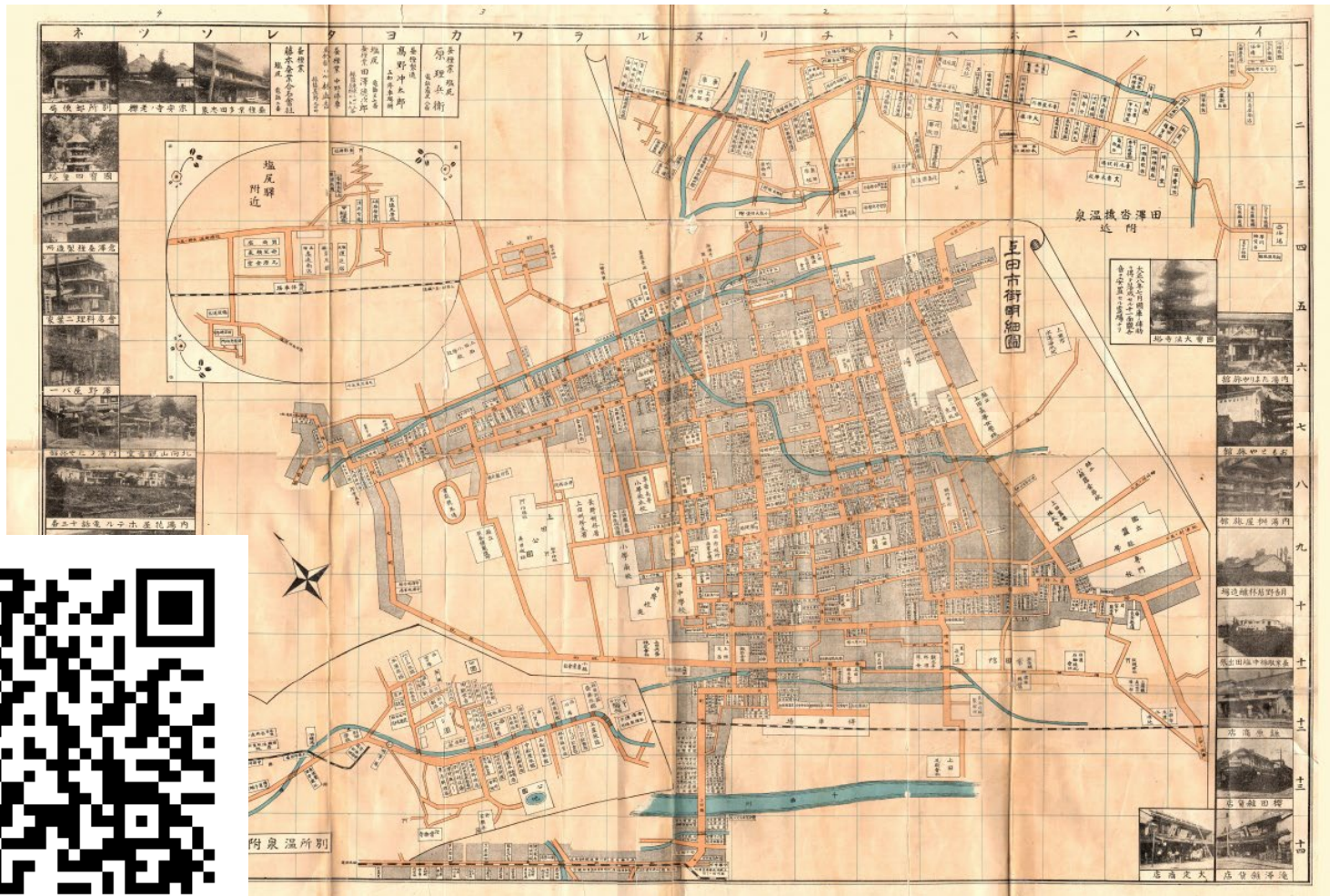
鐘紡上田工場
日本専売公社上田工場
アリオとサントミュージーゼ



<https://d-commons.net/uedagaku/?c=&p=2354>

上田市明細図 1922年

- <https://d-commons.net/uedagaku/?c=&p=3116>



『上田市誌』上田年表

- 上田市マルチメディア情報センターと長野大学（信州上田学）により刊行物をテキストコード化
- 本講受講生に限定しデータ供与Excel形式
- Classroomからダウンロードすること

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | |
|----|------|-----|-----|-----------|--------|----|----|----|--|---|-------|-----|------|------|--|
| 1 | 記事ID | 順番 | 地域 | 時代 | 今 | 西暦 | 和暦 | 記事 | 分類 | 備考・訂正 | 投稿者 | 修正者 | 登録日時 | 修正日時 | |
| 2 | 1 | 10 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 1,600 | 万年 | 前 | ころ | 独結山北の弘法山一帯が海寇にあって戦火したころ、斜長石2種の粗晶ちがいがでる | ちがいが石 | 市誌 | | | | |
| 3 | 2 | 20 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 1400 | 万年 | 前 | ころ | 油の果一帯が海寇だったころ、遠い所から運ばれてきた礫が堆積して油の果(毒木層)が形成された | 油の果 | 市誌 | | | | |
| 4 | 3 | 30 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 20,000 | 年 | 前 | ころ | 菅平高原や和田峠・大門峠周辺にナイフ形石器を中心とした後期旧石器文化が開けた | | 市誌 | | | | |
| 5 | 4 | 40 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 20,000 | 年 | 前 | ころ | 男女会酒跡や鹿山酒跡には、周辺から運出する黒曜石を使った石器の製作工房跡がみられる | 男女会 | 市誌 | | | | |
| 6 | 5 | 50 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 20,000 | 年 | 前 | ころ | 鹿山の星裏峠から虫糸山斜面一帯にかけて、およそ2万年前の旧石器時代から縄文期にわたり黒曜石が採掘された(発掘により発見する) | 黒曜石 | 市誌 | | | | |
| 7 | 6 | 60 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 15,000 | 万 | 年 | 前 | ころ | このころ槍先形尖頭器を伴う石器文化が存在した | 槍先尖頭器 | 市誌 | | | |
| 8 | 7 | 70 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 13,000 | 万 | 年 | 前 | ころ | 細石器を木や骨にはの込んで利器とした細石器文化が、男女会や鹿山酒跡にあった | 細石器 | 市誌 | | | |
| 9 | 8 | 80 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 13,000 | 万 | 年 | 前 | ころ | 菅平高原などに、種子米型石器と呼ばれる大型石器文化がみられた | 大型石器 | 市誌 | | | |
| 10 | 9 | 90 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 12,000 | 万 | 年 | 前 | ころ | このころ、日本列島上に土器がつくられるようになり、各地に縄文文化がみられる | | 市誌 | | | |
| 11 | 10 | 100 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 12,000 | 万 | 年 | 前 | ころ | このころの縄文早期の土器は、丸底や尖り底の深鉢形で、食物を煮炊きするのに用いられた | 縄文早期 | 市誌 | | | |
| 12 | 11 | 110 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 12,000 | 万 | 年 | 前 | ころ | 土器の創出と同じころ狩猟の用具に有角尖頭器が使われるようになったが、やがて石鏃に移り変わる | 石鏃 | 市誌 | | | |
| 13 | 12 | 120 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 12,000 | 万 | 年 | 前 | ころ | 上田市域では、早期の土器はまだ発見されていないが、この時代の有角尖頭器が出土している | 有角尖頭器 | 市誌 | | | |
| 14 | 13 | 130 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 12,000 | 万 | 年 | 前 | ころ | 上田盆地周辺も次第に温暖な気候となり、暖温帯落葉広葉樹林が広がっていたものとみられる | 温暖 | 市誌 | | | |
| 15 | 14 | 140 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 12,000 | 万 | 年 | 前 | ころ | ドングリ類をはじめ豊富な木の実が採集され、人々の食料になった | 木の実 | 市誌 | | | |
| 16 | 15 | 150 | 上田市 | 地質時代・縄文時代 | 7,000 | 万 | 年 | 前 | ころ | 縄文早期の土器は、尖底深鉢形で擦糸文・押型文・沈線文・貝殻象嵌文・浴衣匠模文などがある | 縄文早期 | 市誌 | | | |

上塩尻・蚕種製造民家群



蚕種製造民家群がこの規模で現存する地区は全国で唯一



<https://d-commons.net/uedagaku/?c=&s=%E4%B8%8A%E5%A1%A9%E5%B0%BB>

「信州上田デジタルマップ」から“蚕都上田”で調べてみよう！

キモノマルシェ in 上田 2022

10/23 (日) 10:00~16:00 海野町商店街

キモノ
in 信州上田
KIMONO MARCHE
マルシェ
2022

2022. 10.23 (日)
10時~16時

着物好き集まれッ!

上田市海野町商店街一帯

着物フリマ・和小物等の制作体験・着物で茶の湯・着物SHOW TIME・着物着レンタル・信州手描き

これに参加しキュレーションしてもらってよい

★受付 (海野町会館 1階)

会場マップやスタンプラリーのカードを配布します。
スタンプラリーを制覇した方には抽選で豪華景品をプレゼント!

①着物フリマ 第1会場 (海野町会館 1階)
②着物フリマ 第2会場 (海野町会館 2階)
素敵な掘り出し物がざっくざく!?

③体験ブース 第1会場 (まちなかキャンパス)
■信州の蚕糸を知ろう&コーヒーでひととき
企画展示 上田と小諸をピックアップ
スライドショー上田 (藤本蚕業)・小諸・海野町今昔
[長野大学企業情報学部 前川ゼミの皆さん]
※常時ライブ中継 ネット展示も見られます。

④体験ブース 第2会場 (ゆたがや 3階)

上田城 中央2 上田駅 まちなかキャンパス 海野町会館 海野町 岸の角 ふれあいサロン 横町 CoReecWa

信州の蚕糸を知ろう

長野大学前川ゼミ+清水寛美コラボ

会場:まちなかキャンパスうえだ

10:00~ 展示と着物教室

14:45~ ミニレクチャー3本

前川道博/蚕の卵・シルク文化の源泉

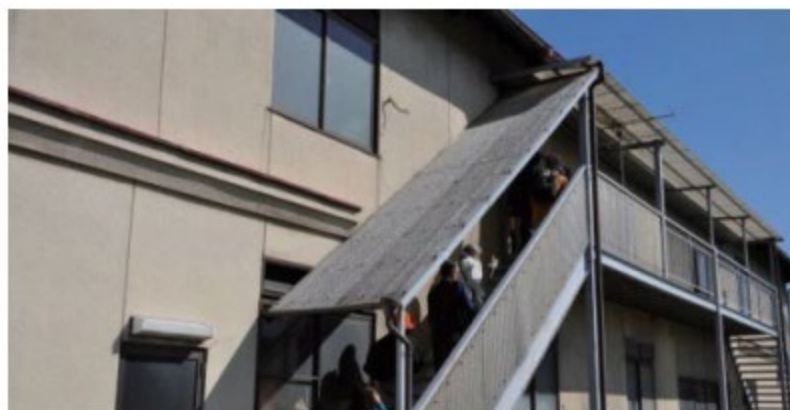
足立ミク(前川ゼミ)/蚕都のその後・海野町の今昔

清水寛美(きものニスト)/小諸の風穴と蚕糸

蚕種製造民家「佐藤家住宅」等見学会

10/29(土) 13:00~16:00

佐藤家住宅・旧佐藤宗家 / 藤本蚕業歴史館見学会



左：佐藤家住宅(上田市立博物館所蔵『日本博覧図』[1897]から)、右：藤本蚕業歴史館



<https://www.mmdb.net/fujimoto/2022-1029kengaku.pdf>

定員20名限定。参加希望者は前川まで連絡をください。
特別に学生枠を設け参加可能とします(3人で締切)。
→maekawa@nagano.ac.jp

これに参加しキュレーションしてもよい

課題提出期限は猶予します。

蚕種の里「上塩尻」まちあるき

11/26 (土) 13:00~15:00, 15:15~17:15

蚕種の里「上塩尻」まちあるき 13:00~15:00

古建築と景観の保全活用意見交換会 15:15~17:15



<https://www.mmdb.net/fujimoto/2022-1126kengaku.pdf>

定員20名限定。参加希望者は前川まで連絡をください。
特別に学生枠を設け参加可能とします（3人で締切）。
→maekawa@nagano.ac.jp

これに参加しキュレーションしてもよい

課題提出期限は猶予します。

蚕都を未来に活かす！

次回はポスト蚕糸（蚕種）業の視点から

蚕糸業はどう換骨奪胎し業種転換したのか

「未来のギフト」：蚕種、桑、ファイバー工学、その他



本日の課題【主に選択1】

- ・「蚕都上田」、また本日の講義内容やネット公開資料/サイト、「蚕都資源を活かした未来」などについて、特に興味を持ったこと、自分が探求したいと思ったことなどを自由に投稿してください。
- ・ 提出期限：10/24（月）
- ・ 投稿先：classroom